

忙しくても、10分あれば・・・



毎日忙しくて、なかなか子どもに読む時間が取れない、ということがありますね。でも、絵本を1冊読むのにかかるのはせいぜい10分くらい。また、この年齢になると、長い物語を少しずつ読んでもらうことも楽しめるようになります。耳から聞いた言葉で、想像し、面白さを味わうことができるようになると、成長とともに自然に自分で読むことを楽しめるようになります。

♡♡♡♡♡♡♡♡ 女の子のあこがれ ♡♡♡♡♡♡♡♡

「オンネリとアンネリのおうち」

マリヤッタ・クレンニエミ／作
マリヤ・カルマ／絵
福音館書店

オンネリとアンネリは仲良しの女の子。不思議な出来事から、二人だけのおうちを手に入れます。すてきな部屋に、二人分の洋服や台所用品まで揃ったおうちは夢のよう。クラシックな絵に文章も多のですが、読んであげると、十分に楽しめます。続きに『オンネリとアンネリのふゆ』もあります。



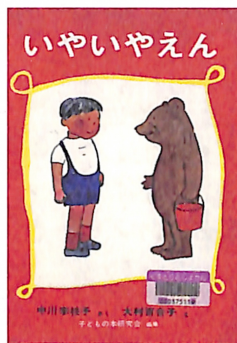
「ミリー・モリー・マンデーのおはなし」

ジョイス・L・ブリスリー／作
菊池 恭子／絵
福音館書店

ミリー・モリー・マンデーは元気な女の子。おつかい、パーティー、おまごなど、田舎の大家族の中で暮らす女の子の日常を描いた、愉快なお話が12編。つづきに『ミリー・モリー・マンデーとともだち』があります。



☆☆☆☆☆☆☆☆ ♪♪♪♪♪♪ ♪♪♪♪♪☆☆☆☆☆☆



「いやいやえん」

中川 李枝子／作
大村 百合子／絵
福音館書店

50年以上読みつがれてきた幼年童話。保育園に通う子どもたちの、生き生きした空想や冒険は、今の時期にこそ楽しめるもの。想像力をかきたてられるお話を楽しんでください。

「エルマーのぼうけん」

ルース・スタイルス・ガネット／作
ルース・クリスマン・ガネット／絵
福音館書店

エルマーは、竜の子がどうぶつ島に捕われ、お客を運ぶ乗り物として働かされていることを聞き、助けようと決心します。冒険に出るための荷物を用意するなど、エルマーと一緒にワクワクできるお話です。続きのお話が2冊あります。



「おいしいのぼうけん」

古田 足日／作
田畑 精一／絵
童心社

さくら保育園のさとしとあきは、ある日ケンカをして押入れに入れられます。やがて押入れは不気味な夜の世界に・・・二人は、襲いかかるねずみばあさんから逃げ出します。迫力満点の絵物語。

